

# 市議会の動き

詳細 議会事務局 電話(32)6785

第19回市議会臨時会、第20回市議会定例会の審議内容についてお知らせします。

## 第19回市議会臨時会

人事院勧告に準じた特別職の職員の給与に関する条例等および一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正案が可決成立

第19回市議会臨時会は11月25日(木)に開かれ、報告5件、議案2件の審議が行われました。

### 報告

閉会中の決算審査特別委員会に付託された21年度一般会計および企業会計・特別会計の決算審査結果が報告され、一般会計は賛成多数で、企業会計は14会計すべて全会一致で報告とあり決定されました。

続いて市有自動車の物損事故の損害賠償額の決定についての専決処分が報告され、事故の賠償金を増額する平成22年度苦小牧市一般会計補正予算(第10回)の専決処分が報告、承認されました。また、市道の路側のトラフのふたが跳ね上がり、通行車両に損傷を与えた物損事故の損害賠償額の決定についての専決処分が報告、承認されました。

### 議案

国家公務員に準じて、特別職の期末手当の引下げ等を行う「苦小牧市特別職の職員の給与に関する条例及び苦小牧市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正」と一般職の給料月額並びに期末手当および勤勉手当の引下げ等を行う「苦小牧市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正」を、原案どおり可決しました。

# 審議会委員などを募集します

委員の任期はいずれも4月1日～平成25年3月31日(2年間)

## 市民自治推進会議委員

自治基本条例の運用状況を市民の目で見守り、市民自治を進展させる活動をする委員を募集します

募集人員 3人程度  
応募資格 18歳以上(市内に通勤、通学している方を含む。高校生、市議会議員、常勤の市職員を除く)  
報酬 8,100円(会議1回につき) 会議は年3回程度  
申し込み・詳細 2月28日(月)までに住所、氏名、性別、年齢、職業、電話番号、その他連絡先、応募動機(400字程度)まちづくり活動の経験がある方はその内容と期間を記載(A4サイズで様式は自由)し、直接または郵送(消印有効)ファクス、Eメール、市民自治推進課ホームページ(http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/)で市民自治推進課(検索)の入力フォームで ☎053 8722旭町4丁目5番6号 市民自治推進課 ☎32-6025 ☎34-7110 ✉siminjiti@city.tomakomai.hokkaido.jp  
詳細は市のホームページに掲載。選考結果は全員に通知。応募書類は返却しません

## 廃棄物減量等推進審議会委員

ごみの減量や再生利用などについて広く市民の意見を聴き、施策へ反映させるために委員を募集します

募集人員 若干名  
応募資格 市内在住の18歳以上(高校生を除く)の方で、ごみ減量などについて考え、意見を持ち、2年間委員を務めることができる方  
申込書配布 減量対策課、環境生活課(市役所8階) 植苗ファミリーセンター、各コミセン、ホームページ(http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/)で減量対策課(検索)  
報酬 8,100円(会議1回につき)  
申し込み・詳細 2月18日(金)までに申込書に必要事項を記入し、ごみ減量についての意見・考えをまとめた作文(400字程度)を添えて直接または郵送(消印有効)で ☎059 1364 字沼ノ端2番地の25 減量対策課 ☎55-4266 選考結果は3月中旬に全員に通知

## 男女平等参画審議会委員

男女平等参画のまちづくりを推進するため、審議会委員を募集します

募集人員 3人  
応募資格 18歳以上の方(市内に通勤、通学している方を含む。高校生、市議会議員、常勤の市職員を除く)  
報酬 8,100円(会議1回につき) 会議は年2回程度  
申し込み・詳細 2月21日(月)までに「男女平等参画審議会委員申し込み」と明記し、住所、氏名、性別、生年月日、職業、電話番号、応募動機(400字程度)市の審議会や委員会など委員経験者はその内容を記載(様式は自由)し、直接または郵送(必着)Eメールで ☎053 0021 若草町3丁目3番8号 女性センター ☎32-3544 ✉danjobyodo@city.tomakomai.hokkaido.jp 選考結果は全員に通知。応募書類は返却しません

## 女性センター運営委員会委員

女性センターの適正な運営や実施事業に関し、広く市民の意見を聴くために委員を募集します

募集人員 2人  
応募資格 18歳以上の方(市内に通勤、通学している方を含む。高校生、市議会議員、常勤の市職員を除く)  
報酬 8,100円(会議1回につき) 会議は年1回程度  
申し込み・詳細 2月21日(月)までに「女性センター運営委員会委員申し込み」と明記し、住所、氏名、性別、生年月日、職業、電話番号、応募動機(400字程度)市の審議会や委員会などの委員経験者はその内容を記載(様式は自由)し、直接または郵送(必着)Eメールで ☎053 0021 若草町3丁目3番8号 女性センター ☎32-3544 ✉danjobyodo@city.tomakomai.hokkaido.jp 選考結果は全員に通知。応募書類は返却しません

## 第20回市議会定例会

緊急雇用対策・景気浮揚対策事業を盛り込んだ補正予算案を可決  
データセンター誘致のための企業立地振興条例改正案も可決

第20回市議会定例会は12月2日(木)から12月10日(金)まで開かれ、22年度補正予算案や条例の制定・改正案、指定管理者の指定など議案20件、各委員会の審査結果など報告3件、要望意見書5件などの審議が行われました。  
一般質問では6会派15人の議員により、新年度予算編成と財源確保、労使交渉のあり方、民間委託・民間移譲・指定管理などの行政改革の取り組み、産業振興条例・中小企業振興条例と商店街活性化条例についての対応、商店街空洞化対策、こみの有料化と廃棄物減量等推進審議会の開催状況、新千歳空港の発着枠問題などについて論議されました。  
各常任委員会・特別委員会では陳情の審査のほか、廃プラスチック類収集の実施状況、地域職業訓練センター(仮称)第24小学校の建設場所および通学区域、水道事業給水条例及び下水道条例の一部改正、新千歳空港の24時間運用に関する地域協議会などについて質疑が行われました。  
今定例会で審議された主な内容と結果は次のとおりです。

### 報告

強風で歩道の街路樹が倒れ、駐車車両に損傷を与えた物損事故の損害賠償額の決定についての専決処分が報告、承認されました。  
また、厚生委員会に付託された陳情1件と文教経済委員会に付託された陳情3件の審査結果の報告が行われ、報告とあり決定しました。

### 議案

22年度各会計補正予算  
一般会計補正予算では、文化会館指定管理費を除いた債務負担行為補正と道路清掃・雪氷除去事業、住宅用火災警報器設置状況調査・普及啓発事業、公園樹木および街路樹木調査・景観

改善事業などの緊急雇用対策・創出事業7千580万8千円、市立保育園内部改修工事や公園整備事業などの景気対策事業9千990万円などで総額5億1千806万3千円の増額が修正可決されました。また、関連議案で、松風町の苦小牧市静和荘の敷地を運営移管先の社会福祉法人緑陽会に譲渡する土地の譲渡と平成23年度から4年間植苗ファミリーセンターは(株)植苗・美沢プロジェクトを、北光町未来の森公園は長岡造園(株)を管理運営する団体として指定する指定管理者の指定は原案どおり可決されましたが、文化会館の指定管理者の指定は否決されました。  
国民健康保険事業特別会計補正予算では、国民健康保険システム導入に対応するシステム改修経費1千999万2千円の増額が原案どおり可決されました。

介護保険事業特別会計補正予算では、認知症対応型連携担当者を配置する経費15万円の増額が原案どおり可決されました。  
後期高齢者医療特別会計補正予算では、広域連合の交付金を活用しシステム端末の増設、環境更新などを行う相談体制整備に要する経費86万3千円の増額が原案どおり可決されました。  
下水道事業会計補正予算では、耐震化およびゲリラ豪雨対策として下水道新設工事および下水道管渠改良工事を行う経費1億1千万円の増額が原案どおり可決されました。  
市立病院事業会計補正予算では、再編交付金を活用し医療機器を整備する固定資産取得費3千44万9千円の増額が原案どおり可決されました。

条例の制定および一部改正  
学校開放の使用許可、使用料などについて定める「苦小牧市立学校施設の開放に関する条例」の制定が、原案どおり可決されました。  
国保税の課税限度額を改定する「苦小牧市税条例」、データセンター誘致のため助成事業場の拡大と要件の緩和を行なうための「苦小牧市企業立地振興条例」、料金改定のための「苦小牧市企業立地振興条例」、料金改定のための「苦小牧市企業立地振興条例」、苦小牧市モータープランニング条例、苦小牧市牧野管理規程、苦小牧市消防関係手数料条例のほか、苦小牧市営住宅

### 陳情

《今議会に提出された案件》(カッコ内は付託された委員会)  
●商店街活性化条例の制定を求める陳情(文教経済委員会)  
●苦小牧市学校給食調理等委託事業に関する陳情(文教経済委員会)  
●住民の安全・安心な暮らしを支える交通運輸行政の充実を求める要望意見書提出に関する陳情(文教経済委員会)

●大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める、要望意見書提出に関する陳情(厚生委員会)  
●地域医療と国立病院の充実を求める要望意見書提出に関する陳情(厚生委員会)  
●政府によるTPP交渉に係る要望意見書提出に関する陳情(文教経済委員会)  
●高齢者の生活実態に見合う年金引き上げを求める要望意見書提出に関する陳情(厚生委員会)  
●道立衛生学院の存続を求める要望意見書提出に関する陳情(厚生委員会)

### 意見書

「住民の安全・安心な暮らしを支える交通運輸行政の充実を求める要望意見書」、「北海道の自衛隊体制維持を求める要望意見書」、「子ども手当財源の国庫負担での対応を求める要望意見書」、「北海道水産業の生産拠点となる水産基盤整備に関する要望意見書」、「公職選挙法の改正を求める要望意見書」の5件の意見書が原案どおり可決され、関係機関に提出されました。

## 市長コラム



苦小牧市長 岩倉博文

～新成人の活躍に期待します～

今年、苦小牧市内では1千632人の若者が、めでたく大人の仲間入りとなり、先日、若者たちの新たな船出を祝う「成人式」に出席しました。成人式はこれまで白鳥アリーナで開催していましたが、少子化により対象者が減少していることから、今年は10年ぶりに市民会館での開催になりました。

当日の会場には色鮮やかな晴着や真新しいスーツに身を包んだ若者たちがあふれ、その姿から、元気さや新鮮さが大いに伝わってきました。また、今年の成人式のテーマは「MOVINGムービング」次のステップへ、先に進み次のステップへということですが、体を動かすという意味はもちろんです、精神的に次のステップへ進むということ、成人を迎えるにあたっては大きな意味を持つと、式典に参加して感じました。新成人の皆さんには、新たな気持ちで20代にステップアップして欲しいと思います。現在は、経済や社会情勢が激しく変化する難しい時代です。若者ゆえに持つ、柔軟な発想や果敢な行動力などのエネルギーが今後のまちづくりには欠かせません。これからの未来の苦小牧を担う新成人たちの活躍に、大いに期待しています。



な発想や果敢な行動力などのエネルギーが今後のまちづくりには欠かせません。これからの未来の苦小牧を担う新成人たちの活躍に、大いに期待しています。